

## 長期コホート研究のデータ維持管理及び解析法に関する研究

水野正一

(東京都老人総合研究所情報科学部門室長)

地域一般住民を対象とした長期コホート研究では、データベース情報等の維持管理及び長年にわたる情報の継続性が重要となる。本年度は、インターネット記述言語であるHTML ホームページ記述言語を用いて情報のメモを記録できるようメモシステムの開発を行った。また解析面からは繰り返しコホートデータ等に適した解析法の検討を行った。

キーワード：コホートデータ維持管理、ホームページ記述言語、繰り返し記録データ解析

### A. 研究目的

わが国は非常な勢いで高齢化社会を迎えつつある。「歳をとると」とか、また「高齢になると」等の表現のなかには、横断的な観察研究から得られた情報に基づいて語られることが多いが、平均寿命の延長が続いているなかでは年齢効果を過大にあるいは過小に評価する危険性があり長期縦断的（コホート）研究や介入研究から結果を得ることが望ましいとされている。

長期縦断的コホート研究では観察が長年にわたるため後になって情報の分かりやすさを保証する方法や技術が重要となり、得られたデータ等の情報の維持管理に特別の配慮が必要となる。

そこで本年度は各種情報を整理記録する方法を開発及び応用する目的でパソコン上で動作する Application Soft としてのメモシステムの開発を行った。

### B. 研究方法

Operating System は Windows-95, 98, NT 等を試みた。情報の提示用としては、ホームページ記述言語であるHTML言語を用いた。ホームページ作成は簡易言語によったが、これはC言語にて開発を行った。取り扱うべき各種情報としては、テキスト情報、各種ワープロ情報、論文等をスキャナーで取り込んだ絵(jpg)の情報を取り扱い可能となるようにした。

## C. 研究結果

図1に、このメモシステムによるホームページ記述の簡単な特徴を示した。維持管理されるべきファイル情報等をデータベース化しておき、それがページ上から (mx) と表現されたボタンを Click することにより適時、提示情報の変更追加が可能となった。今回は、データベース情報は表計算ソフトのエクセルにて管理させた。変更追加をページに反映させるには (m) ボタンを click すると書き換えプログラムが実行されデータベース情報がページに反映される。

図2に、上の図の pl を click した時に展開するページを示した。これは調査票をスキャナーで読みとり絵 (jpg, gif) の情報として保存したものである。

## D. 考察

今回、コホート研究は長期に渡り情報の維持管理が重要であることを鑑み、最近のインターネットの普及や、パソコン等のハード、ソフトの向上を利用して、情報を維持管理するためのメモシステムの開発を行った。現在は、パソコン上で展開可能であるがネットワーク上での有効性が試される必要がある。また、当研究班での様々な情報の維持管理及び分かりやすい提示用に使用されうるものと考えている。

## 長寿科学研究 (mx) (m)

### 6府県コホート再追跡健康調査票

.p1 .p2 .p3 .p4

#### 生活習慣

#### 図1. 情報のメモのためのホームページ(準備中)

## 健康調査票

このアンケート調査票は30年前に全国6府県でおこなった厚生省の健康調査に参加していただいた方にお送りしております。30年前の調査をもとに、がんや脳卒中などが生活習慣と密接に結びついていることがわかり、病気の予防に役立っています。今回の調査は現在の生活習慣をお知らせいただいて、30年前の生活習慣と比較し、さらに健康な長寿づくりに役立てようとするものです。この調査の趣旨をご理解の上、ぜひご協力頂きますようお願いいたします。なお、回答はすべてコンピューターで集計され、個人名が公表されるようなことはありません。

#### 図2. 健康調査票の最初のページの一部